

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	解剖生理学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部2年		学期及び曜時限	前期 5・6限	教室名	機能訓練室
担 当 教 員	高田 寛彬	実務経験と その関連資格	急性期、回復期病院にて8年間、理学療法士として勤務し、ICU・一般病棟で理学療法を施行。3学会認定呼吸療法士、修士(健康科学)取得			
《授業科目における学習内容》						
呼吸の解剖生理を復習し、肺区画のイメージができるようになる。疾患の病態について、スライドで説明を行い、レポートに自己の解釈も踏まえて記載する。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート 80% 小テスト 20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
早分かり生理学ハンドブック 孫 明州.株式会社ナツメ社,2011						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
臨床現場でも呼吸器疾患の患者と関わる機会も増えており、疾患の理解からデータを読み取る力を身に付けてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標					呼吸の解剖学、生理学の復習
	各コマにおける授業予定	呼吸に関する解剖・生理学の復習				
第2回	授業を通じての到達目標					スパイログラムの読み取り
	各コマにおける授業予定	データ取り				
第3回	授業を通じての到達目標					
	各コマにおける授業予定	シャトルウォーキング演習				
第4回	授業を通じての到達目標					
	各コマにおける授業予定	レポート作成				
第5回	授業を通じての到達目標					
	各コマにおける授業予定					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第7回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第8回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第9回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第10回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第11回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第12回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第13回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第14回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第15回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				